

那須烏山市長 川俣 純子 様
那須烏山市議会議員 青木 敏久 様

要 望 書

平素より、わたしたち市民の安全・安心・快適な生活を維持するため、様々な行政・公共サービスの提供にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、私たちが暮らす金井町は、JR 烏山駅を中心に人口が集中し、多くの飲食店等の店舗が立地するなど、烏山市街地の中でも地元の活力が維持できている数少ない地域の1つです。

昭和40年から50年代にかけては、大型の民間店舗やボウリング場、映画館などの娯楽施設のほか、数多くの飲食店等が軒を連ねるなど、非常に多くの利用者で大変な賑わいを見せていました。しかし、急激な少子高齢化や人口減少が進むことで、大型店舗の撤退や老舗店舗の閉店が相次ぐなど空洞化が進行し、地域の活力低下が顕著となっています。

また、公共交通の大動脈として、この地域の賑わい創出を牽引してきた JR 烏山線が、乗車数の減少から廃線の危機に直面しているとの話を聞き及んでいます。万が一、JR 烏山線の廃線が現実のものになれば、閑古鳥が鳴き、これまで以上に地域活力が失われるだけでなく、那須烏山市にとっても、計り知れない痛手を被ることになります。

こうした中、市からは、JR 烏山駅周辺を新庁舎整備の候補地とする「庁舎整備基本構想（原案）」が示され、具体的整備に向けた議論が進められています。JR 烏山駅周辺に新庁舎が整備されることで、JR 烏山線の存続は勿論のこと、民間施設の誘導による中心市街地の活性化、引いては那須烏山市の今後の発展にも大きく寄与するものと考えます。

新庁舎を核とした新たなまちづくりを推進し、かつての賑わいを復活させるためにも、JR 烏山駅周辺に新庁舎が整備されますことを強く要望します。

令和6年12月27日

金井町連合自治会

金井自治会長 小川 清

南自治会長 齋田 一郎

あたご自治会長 関澤 正

金三自治会長 桑野 茂

